

# みどりの風

令和3年11月1日(月) 発行人: 校長 角田 亮明

緑  
の  
誓  
い

- さわやかにあいさつをします
- 進んで勉強をします
- きまりを守ります
- 心をこめて掃除をします
- みんなと仲良くします

## 「緑丘小版：支持的風土づくり」について

早いもので今日から11月。実りの2学期も後半戦突入です。前半2ヶ月はコロナ対応に追われ、腰を据えて教育活動を進める状況ではありませんでした。無事に運動会も終えこれからは、子ども達の学力定着、向上に全力を尽くさねばなりません。そこで今号では、子ども達の学びの土台となる「支持的風土」について考えを述べたいと思います。

支持的風土とは、子ども達一人一人を伸ばしていく上で必要な集団環境のことです。一人一人が自己存在感を感じ、学び合いを通して、互いのよさを尊重し、認め合える、全ての子どもにとって居心地のよい環境をつくるのが大事だと考えています。そういう支持的風土の中で学び合う子ども達は、確実に能力を伸ばすはずで



2学期から「緑丘小版：支持的風土づくり」の具体像を設定し、子ども達一人一人が安心して自己の能力を発揮できるよう集団づくりを見直し、再構築しています。本校が目指す支持的風土とは、以下の3つの姿です。

- ① きついこと、難しいこと、手間のかかることにくじけず取り組もうとする姿勢や構え
- ② 互いに助け合い、協力し合って、共に伸びようとする姿勢や構え
- ③ 個や集団の成長を心地良く感じる感性

やる前にあきらめる、簡単に挫折してしまう、時間がかかることを面倒臭がる。最近、よく出会う子ども達の姿です。これでは、せっかく持っている可能性を拓くことはできません。心の強さを取り戻し、前に向かって皆で進む学級集団づくりを目指します。

## 修学旅行に行ってきます。～吉野ヶ里，宇宙科学館，平和学習～

4日，5日の一泊二日の日程で修学旅行に行ってきます。コロナ感染拡大により一時は実施そのものが危ぶまれましたが，笑顔で出発できそうです。6年生にとっては何と云っても小学校生活最大の行事。ルールをしっかりと守りながら楽しい学習にしたいものです。

簡単にコースを説明します。1日目は福江港7：30発の高速船で出発し，貸切バスで佐賀県へ。吉野ヶ里歴史公園で国の成り立ちを学び，佐賀県立宇宙科学館で科学の素晴らしさに触れます。宿泊は嬉野温泉。宿の配慮で広い部屋を少人数で利用するコロナ感染対策が採られています。2日目は長崎に戻り原爆資料館見学。続いて，原爆落下中心地→浦上天主堂→如己堂→平和公園と，平和ガイドさんの説明を聞きながらの平和学習。勿論，全校児童で作成した千羽鶴も献鶴します。その後，長崎歴史文化博物館でワークショップを行い，長崎港発15：25の高速船で帰島予定です。規律ある行動を土台に，仲間との絆を強め，しっかりと学ぶ修学旅行を目指します。

